



1 がつ としょかん通信

▷問合せ 図書館 (☎ 766 - 3238)

▷休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、1日(金)～4日(月)、館内整理日7日(木)、※年末年始の休館中は返却ポストの利用不可
▷開館時間 午前10時～午後6時
▷展示 「本で巡る47都道府県」2月3日まで
◆こども上映会
▷とき 1月30日(土) 午前11時～11時30分頃
▷ところ 中央公民館 視聴覚ホール
▷内容 にっぽん昔影絵ばなし(「いっすんぼうし」「つるとかめ」他全3編)
▷定員 先着30人※マスク着用をお願いします

| | | |
|-------|------|---|
| 日生図書館 | 開室日 | 日曜日=10・17・24・31日 水曜日=6・13・20・27日 金曜日=8・15・22・29日 土曜日=9・16・23・30日 |
| | 開室時間 | 午前10時～午後5時 ※土曜日は午後0時30分まで |

今年は丑年。牛にまつわる本を紹介し
ます。児童コーナーでは十二支の登場す
る絵本も展示しています。

しあわせの牛乳

佐藤 慧/著 安田 菜津紀/写真 ポプラ社

岩手県の「なかほら牧場」は、牛舎ではなく山で一年中牛が放牧されている、日本でも珍しい牧場です。「牛が幸せに暮らしているからおいしい牛乳ができる」という牧場長の中洞さん。彼が困難を乗り越え、牛と山と人がともに生きる「山地酪農」を完成させるまでの軌跡を描いたノンフィクション。【高学年～・175ページ】



自由訳 十牛図

新井 満/著 四季社

十牛図とは十枚の牛の絵。失われた牛を探し求め故郷に連れ帰る絵物語ですが、牛は実は自分の心であり、悟りへの道のりを段階的に描いたものとされています。禅の入門といわれるこの十牛図には様々な解説本がありますが、わかりやすく大胆に自由訳したのが本書。丑年の初めに、詩を読むような感覚で一度この世界に触れてみるのはいかが? 【一般・267ページ】



こんな本いかが?

くいしんぼうのはなこさん

いしいももこ/文 なかたにちよこ/絵 福音館書店

子牛のはなこはわがままで、ごちそうばかり食べたのでむくむく大きくなりました。山の牧場に連れていかれても他の子牛たちに勝ち、1番強い牛としていばっています。ある日、牧場にどっさり届いたおいもとかぼちゃも、ほとんどひとり占めして食べたのはなこ。すると次の日大変なことに…。ちょっとユーモラスでほのぼのした絵本。【幼児～・35ページ】



あかべこのおはなし

わだ よしおみ/文 わかやまけん/絵 こぐま社

会津の民芸店に並んだ紙のはりこ人形のあかべこは、ある日自分と同じ赤い色の山を見つけます。それは紅葉した会津磐梯山。山にあこがれるあかべこは、山を目指して出発します。いろんな動物に連れて行ってもらよう頼むのですが…。トラブルにあいながらもゆっくりゆっくり山に近づくあかべこを応援したくなる絵本。【幼児～・48ページ】



ときめき

瞬

「今」「この瞬間」輝いている
* あなたを応援します *

親父の背中を追いかけて

私が猪名川町に住み始めたのは、今から45年前。当時は会社員として勤めており、家には休みに帰ってきているような状況でした。

あまり地域のことなども知らずに過ごしていましたが、55歳の時に私の親父が他界しました。葬儀が終わわり、実家で遺品の整理をしていると、その中から「感謝状」が出てきたのです。内容を見ると、たくさん寄付活動などをしていたようでした。

親父は仕事ばかりしている「昔気質の会社員」という印象だったので、仕事以外で地域に貢献するようなことをしていたことに驚きました。それと同時に、「私も親父のバトンをつな

奥芝 正雄さん
(77歳・松尾台)



川西防犯協会 副会長、川西少年補導員連絡協議会 副会長、町学校支援ボランティアなど



フェンディとの活動

流して喜んでくださった方もおられました。そのうち嬉しさを私に伝えたので、私も嬉しさを伝えたので、きつとフェンディも楽しんでいました。思っています。

いで、地域社会のために何か役に立たないといけないんじゃないのか? 自分と家族が暮らし、これまでも世話になった猪名川町に恩返ししたい」と思うようになってきました。

退職後の生活を意識し始めた58歳の頃、縁があつて外出が困難な高齢者にお弁当を配達する「ふれあい弁当」の配達のボランティアを始めました。初めてのボランティア活動でしたが、配達先でおいちゃんやおばあちゃんとお話ししたり、喜んでもらえたりして「やりがい」を感じ、現在まで約20年間続けています。

また、当時飼っていた犬(フェンディ)を「セラピー犬」として、病院や介護施設などに連れて行くボランティアも10年ほど続けました。入院患者さんたちが癒され、中には涙を流して喜んでくださった方もおられました。そのうち嬉しさを私に伝えたので、私も嬉しさを伝えたので、きつとフェンディも楽しんでいました。思っています。

退職後も、町観光ボランティアガイド、川西防犯協会での防犯活動や子ども登下校時の見守り活動など、様々なボランティア活動を行っています。その中で、子どもから大人まで色々な人たちと関わり、沢山の仲間や友人ができました。その人たちとの思い出の一つひとつが、私にとつての「生きた証」のように感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。

生涯学習としての「図書館通い」、健康維持のための「週2回のジム通い」、そして「ボランティア活動」。この3つが今の私の生きがいです。

日本の礎を築いて来られた高齢者の方々、日本の未来を担う子どもたち、そして地域のために、これからも妻や家族に支えてもらいながら、仲間の皆さま方と協力し、精一杯の恩返しを続けていきます。

また、コロナ禍という状況もあります。が、皆さまがお正月を平穏無事に過ごされることを心よりお祈りしています。



登下校時の見守り活動



道の駅いながわでの防犯啓発



「瞬」の掲載希望者・団体を随時募集中です。
※詳細は町ホームページ募集情報より
▶申込・問合せ 企画政策課広報戦略室 (☎ 766 - 8707)